

北海道高等学校教育相談研究会 第53回研究大会開催要項

- 1 研究主題 「変化の激しい多様性の時代をしなやかに生きる力を育む教育相談を目指して」
- 2 目的 北海道の高等学校等における教育相談活動の発展に寄与する
- 3 主催 北海道高等学校教育相談研究会
- 4 後援 北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道高等学校長協会
- 5 期日 **令和7年1月10日(金)**
- 6 会場 **かでの2・7 北海道立道民活動センター 10階**
(住所：札幌市中央区北2条西7丁目 電話：011-204-5100)
※受付は、10階1040会議室前で行います。

7 日程

受付	開会式	全体講演	昼食・休憩	研修講座Ⅰ部	研修講座Ⅱ部	閉会式
9:00 ～9:30	9:30 ～9:45	9:45～11:35	11:40 ～12:50	13:00～14:30	14:45～16:15	16:20 ～16:30

8 内容

(1) 全体講演

演題 **「素直でまじめでいい子」でも「失敗することが怖い」：いい子症候群の若者たちと共に前へ進むために**

講師 **金沢大学融合研究域融合科学系 教授 金間大介氏**

〈経歴〉 金沢大学融合研究域融合科学系 教授

東京大学未来ビジョン研究センター 客員教授

一般社団法人 WEAT 副代表理事

日本知財学会 理事

北海道札幌市生まれ。横浜国立大学大学院工学研究科物理情報工学専攻（博士）、

バージニア工科大学大学院、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、

文部科学省科学技術・学術政策研究所、北海道情報大学経営情報学部准教授、

東京農業大学国際食料情報学部准教授、

金沢大学人間社会研究域経済学経営学系准教授、2021年より現職。

また「イノベーションのためのモチベーション」研究も遂行しており、教育や人材育成の業界との連携も多数。

〈著書〉 『イノベーションの動機づけ——アントレプレナーシップとチャレンジ精神の源』（丸善出版）

『イノベーション&マーケティングの経済学』（共著、中央経済社）

『先生、どうか皆の前でほめないで下さい いい子症候群の若者たち』（東洋経済新報社）

『静かに退職する若者たち』（PHP）などがある

企業の方はよく「最近の若手は掴みどころがなく、何を考えているかわからない」と言う。「1on1ではわかりあえたと思ってたのに、急に辞めてしまった」という声も。これは一体どういうことなのか。本講演では現在の若者像を捉えつつ、今後の教育や人材育成に活かしていく方策を考える。

(2) 研修講座（選択）

【Ⅰ部】13:00～14:30	休憩 1 5 分	【Ⅱ部】14:45～16:15
研修講座 A 「自殺予防のために私たちができること ～最近の生徒の様子から～」 講 師：北海道医療大学心理科学部 学部長 富 家 直 明 氏		研修講座 B 「生い立ちに困難を抱える生徒の理解と支援」 講 師：北海道大学大学院教育学研究院 准教授 井 出 智 博 氏
研修講座 C（対面のみ、オンライン配信なし） 「気が楽になる論理療法」 講 師：北海道・青森教育カウンセラー協会代表 大 友 秀 人 氏 ※ 研修講座 C を選択した場合は、Ⅰ部とⅡ部を通しての受講となります。		

◇ 研修講座 A 講義「自殺予防のために私たちができること～最近の生徒の様子から～」

講 師 北海道医療大学心理科学部 学部長 富 家 直 明 氏

〈経 歴〉 早稲田大学、同大学院修士課程修了。東北大学大学院博士課程修了。

現在、北海道医療大学心理科学部長。博士（障害科学）、臨床心理士、公認心理師。

日本カウンセリング学会常任理事。

児童生徒のメンタルヘルスが専門。児童生徒理解支援ツールほっとの開発者。

〈著 書〉 ○いわゆる「ほっと」に関する学術論文

新川広樹・富家直明（2015）児童生徒の学年・学校段階に応じたソーシャルスキル尺度の開発——学校現場におけるコミュニケーション教育への活用に向けて—— 北海道医療大学心理科学部研究紀要、11、1-25. <http://id.nii.ac.jp/1145/00010486/>

新川広樹・富家直明（2019）児童生徒の学年・学校段階に応じたソーシャルスキル尺度の標準化——COSMIN に基づく信頼性・妥当性の検証—— カウンセリング研究、52、57-71.

○心の健康教育やカウンセリングに関する出版物

富家直明ほか（2021）『心の健康教育ハンドブック』（共著）金剛出版

富家直明ほか（2024）『新版カウンセリング心理学ハンドブック』（共著）金子書房

児童生徒、中でも高校生の自殺者が過去最大となっている。また、生徒指導提要が改訂され、自殺予防の章が新たに付け加えられた。死に至らないまでもオーバードーズの流行も懸念されるところである。自殺を防ぐために私たちができることとして、下地づくりの授業や実効性のあるスクリーニングを丁寧に行っていくことが求められるだろう。当日はそれらの実際について具体例を交えて紹介したい。

◇ 研修講座 B 講義「生い立ちに困難を抱える生徒の理解と支援」

講 師 北海道大学大学院教育学研究院 准教授 井 出 智 博 氏

〈経 歴〉 公認心理師・臨床心理士。博士（文学）

北海道大学では福祉臨床心理学研究室を担当しています。児童養護施設や里親家庭など社会的養護領域での心理支援に関する実践や研究の他、特に生活困窮家庭の多い地域の公立小中学校や公立通信制高校でのスクールカウンセラーとしての実践、研究に従事してきました。

主な所属学会は日本心理臨床学会、日本福祉心理学会（常任理事、編集委員）、日本子ども虐待防止学会（代議員、編集委員）などです。

〈主たる著書・論文〉

○主たる著書

『子どもの未来を育む自立支援一生涯に困難を抱える子どもを支えるキャリア・カウンセリング・プロジェクト』（岩崎学術出版社）

『心理支援における社会正義アプローチ：不公正の維持装置とならないために』（誠信書房）

○主たる論文

井出智博（2024）スクールカウンセラーにおける倫理、日本健康相談活動学会誌 19、2-5.

井出智博（2019）成人前期の児童養護施設出身者におけるレジリエンスの保護・促進要因の探索：レジリエントへのインタビュー調査を通して、日本子ども虐待防止学会 21(2)、219-228.

井出智博（2022）社会的養護に内在する喪失とそれに伴う悲嘆についての包括的理解と支援に関する理論的検討、北海道大学臨床心理発達相談室紀要 5、33-47.

児童虐待や家族機能不全など子ども時代の逆境的な体験（Adverse Childhood Experiences : ACEs）は子どものその後の発達や適応に、長期、かつ広範にわたり深刻な影響を与え続ける。本講演では ACEs とは何か、その影響を受けた生徒の実態について理解したうえで、どのような支援が必要かについて考えてみたい。

◇ **研修講座 C** 講義・演習「**気が楽になる論理療法**」（対面のみ、オンライン配信なし）

講師 **北海道・青森教育カウンセラー協会代表 大友 秀人氏**

〈経歴〉 北海道大学工学部卒業、筑波大学修士課程教育研究科教科教育専攻学校教育コース修了、東京成徳大学大学院博士（心理学）。

北海道の高等学校教諭を経て、青森明の星短期大学及び北海商科大学で教授を務め、令和 6 年 3 月に北海商科大学を退職。現在青森明の星短期大学客員教授。

〈役職・資格〉

NPO 日本教育カウンセラー協会 副会長

北海道・青森教育カウンセラー協会 代表

日本教育カウンセリング学会 理事

日本学校教育相談学会北海道支部 顧問

北海道公立学校スクールカウンセラー（道教委）

スクールカウンセラー活用事業スーパーバイザー（道教委）

北の子ども教育コンソーシアム構成研究者（道教委）

上級教育カウンセラー（NPO 日本教育カウンセラー協会）

ガイダンスカウンセラー（一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会）

〈著書等〉 『役に立つ教育カウンセリングの方法』 指導と評価 2017 年 4～9 月号（図書文化）

『エンカウンターに学ぶグループ学習 10 のスキル』 2019 年 11 月（図書文化）

『不登校の予防と対応』 2020 年 10 月（共著、図書文化）

『タブレットでふれあうエンカウンター』 2021 年 10 月（共著、図書文化）

『学級づくりと授業に生かすカウンセリング』 2022 年 1 月（共著、ぎょうせい）

『教師のとおきおきの言葉』 2022 年 7 月（共著、図書文化）

今年度で高校 20 年・大学 22 年の教員生活を終え、やはり教師はいい仕事だということを再確認しました。最近、さまざまな呪縛にとらわれて、生きづらさを感じている教師を見受けることが多々あります。今回の講座のテーマを「気が楽になる論理療法」としました。論理療法では、「呪縛」のことを「イラショナルビリーフ」といいます。

講座の中での演習やシェアリングをしながら、当日皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

9 申込と参加料の納付

- (1) 参加料 3,000 円
- (2) 申込方法 北海道高等学校教育相談研究会（道高相研）のホームページ
<http://www.kousouken.hokkaido-c.ed.jp/> のトップページから個人で申込をしてください。
日本旅行のホームページにリンクしています。
※申し込みの際に対面・オンラインの選択をお願いいたします。
※本大会では、お弁当の申し込みが可能です。必要な方は申し込みの際に選択ください。
- (3) 申込期間 令和 6 年 11 月 18 日（月）から 12 月 20 日（金）まで
- (4) 納付方法 指定のコンビニエンスストアで、振込期限をご確認の上、納付してください。
- (5) その他 対面参加会場は、各室とも定員 50～57 名程度となっております。お申込みの数によっては、別室で同時中継の映像視聴となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

〈問い合わせ先〉

北海道高等学校教育相談研究会 事務局長 奥田 尚（北海道札幌東商業高等学校 教諭）

電話 011-891-2311（北海道札幌東商業高等学校） E-Mail : kousouken2022@gmail.com

※ 確実なやりとりのため、メールにてご連絡ください。

※ 電話による問合せは、9:00～17:00 の間にお願いします。